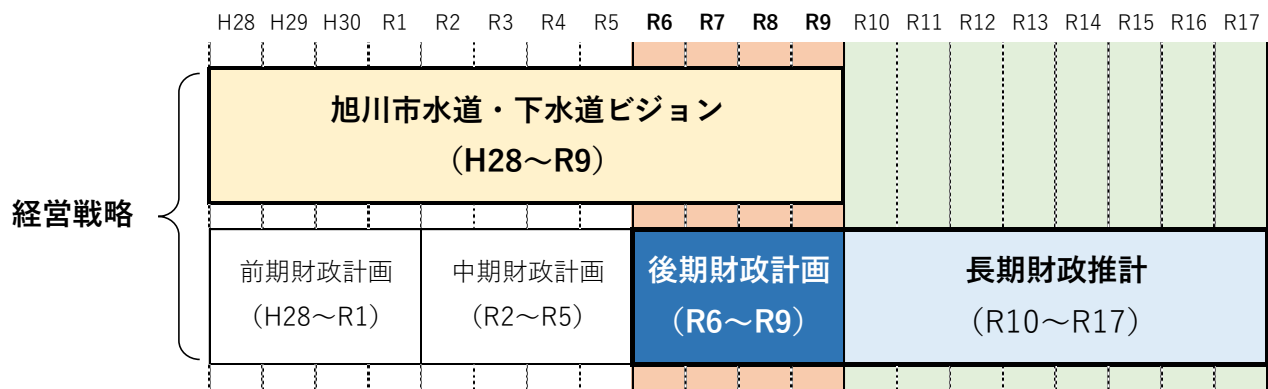


水道事業・下水道事業後期財政計画 (令和6～9年度) 【概要版】

1 財政計画の位置付け



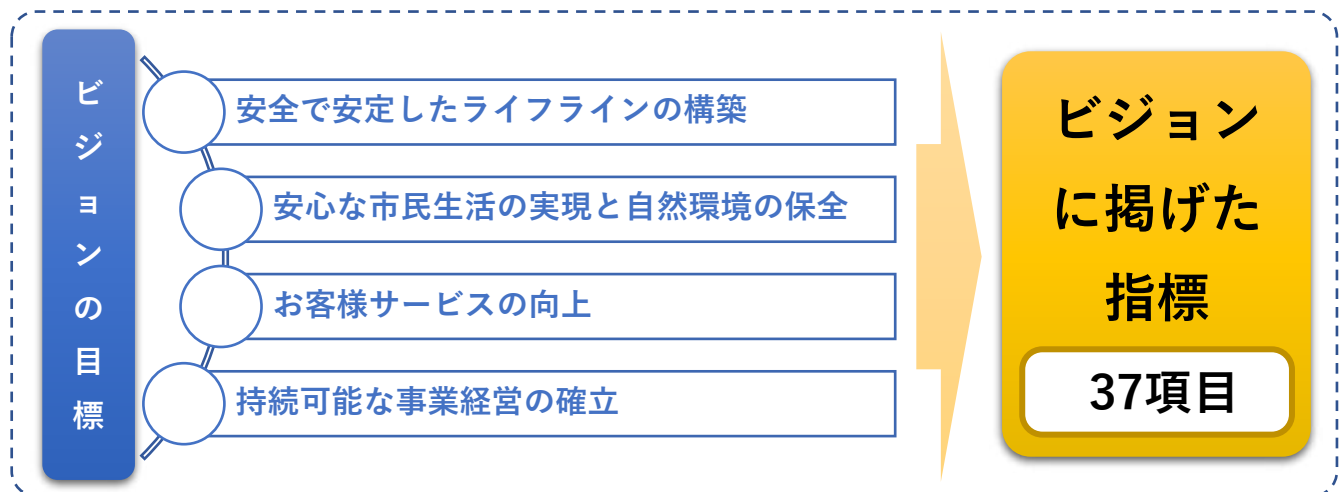
旭川市水道・下水道ビジョンは、本市の水道・下水道事業の将来の方向性を示す基本的指針で、ビジョンを実現していくために、4年ごとに区分した実行計画が**財政計画**です。

ビジョンと財政計画を合わせて、**経営戦略**に位置付けています。

2 事業の取組方針・目標の設定

(1) 後期財政計画における事業の取組方針

➔ ビジョンに掲げた指標の達成に向けた取組を継続します。



(2) 各会計における主な事業の取組方針

水道事業会計

- **配水管更新量の確保**
22km(水道事業の配水管総延長の1%に相当)を**毎年の更新目標**とします。
- **重要給水施設管路等の耐震化**
重要給水施設(地域防災計画に定める避難所等)に接続している非耐震管や布設後40年以上経過した耐震性の低い基幹管路を国庫補助を活用しながら、**耐震化**を進めます。

下水道事業会計

- **下水管の更新等**
 - ア **汚水管の更新** **老朽度調査**による状態監視と更新箇所の絞込みを実施しながら、国庫補助を活用することで、**施設の長寿命化と経済性の追求**を基本とした取組を進めます。
 - イ **雨水管の整備** 防災の観点から、**大雨時の冠水・溢水対策**(雨水管の整備)を進めます。
- **下水汚泥の更なる有効活用**
下水から発生する**汚泥の堆肥化**に向け、取組を進めます。

(3) その他事業全般における取組方針

- **継続的な取組**
 - ア 広聴活動・情報提供の充実
 - イ 危機管理体制の強化
 - ウ 人材の育成と技術の継承
- **新たな課題や将来に向けた取組**
 - ア DX技術の活用
 - イ 官民連携の取組
 - ウ 老朽化する水道局庁舎の在り方検討



旭川市下水道のマスコット「カンタくん」 旭川市水道のマスコット「水道ぼうや」

(4) 持続可能な経営基盤を確保していくための目標

- 経営の健全性を示す次の3指標の**維持(100%以上)**を目標とします。

ア 料金回収率

【水道事業】

指標名	現状値 (R4年度)
料金回収率	100.93%



目標の方向性	目標 (R6~9年度)	長期目標 (R10年度~)
維持 (→)	100.0%以上	100.0%以上

イ 経費回収率

【下水道事業】

指標名	現状値 (R4年度)
経費回収率	105.07%



目標の方向性	目標 (R6~9年度)	長期目標 (R10年度~)
維持 (→)	100.0%以上	100.0%以上

ウ 経常収支比率

【水道事業・下水道事業】

指標名	現状値 (R4年度)
経常収支比率 (水道)	112.91%
経常収支比率 (下水道)	105.47%



目標の方向性	目標 (R6~9年度)	長期目標 (R10年度~)
維持 (→)	100.0%以上	100.0%以上

- 目標の達成に向け、**支出の抑制策**と**収入の確保策**に取り組みます。

3 収支計画 (令和6~9年度)

(1) 水道事業会計における収支の見通し

収支計画 (単位: 百万円)	後期財政計画				長期財政推計							
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
収益的												
①事業収益	6,269	6,343	6,273	6,290	6,289	6,270	6,265	6,281	6,243	6,200	6,164	6,149
収支												
②事業費用	5,969	6,246	6,158	6,274	6,403	6,516	6,659	6,850	7,164	7,188	7,104	7,041
(税抜)												
③当年度純損益(①-②)	300	97	115	16	▲114	▲246	▲394	▲569	▲921	▲988	▲940	▲892
資本的												
④資本的収入	3,874	4,145	3,776	4,820	5,861	7,516	10,330	8,436	9,282	5,844	4,376	6,219
収支												
⑤資本的支出	7,530	7,902	7,453	8,381	9,128	10,717	13,346	11,451	12,354	9,054	8,017	10,406
(税込)												
⑥資本的収支(④-⑤)	▲3,656	▲3,757	▲3,677	▲3,561	▲3,267	▲3,201	▲3,016	▲3,015	▲3,072	▲3,210	▲3,641	▲4,187
⑦補填財源	3,216	3,397	3,400	3,617	3,626	3,699	3,797	3,903	4,106	4,079	3,965	3,881
⑧当年度資金収支(③+⑥+⑦)	▲140	▲263	▲162	72	245	252	387	319	113	▲119	▲616	▲1,198
⑨前年度からの繰越資金	988	848	585	423	495	740	992	1,379	1,698	1,811	1,692	1,076
⑩年度末資金残高(⑧+⑨)	848	585	423	495	740	992	1,379	1,698	1,811	1,692	1,076	▲122

- 令和9年度までは**当年度純損益での黒字**と**年度末資金残高の確保**ができる見通し

➔ 大きな状況の変化等がなければ、後期財政期間中は料金改定をせずに経営ができるものと考えています。

- 令和10年度以降、当年度純損益が赤字に転落、令和17年度には資金不足が発生する見込み

➔ 今後の事業実施などによっては、状況の変化も起こり得るので、定期的な検証を継続していきます。

(2) 下水道事業会計における収支の見通し

収支計画 (単位：百万円)		後期財政計画				長期財政推計							
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
収益的 収支 (税抜)	①事業収益	8,983	8,921	8,942	8,872	8,914	8,929	8,865	8,839	8,837	8,840	8,821	8,780
	②事業費用	8,960	8,822	8,865	8,797	8,882	8,796	8,739	8,717	8,837	8,764	8,665	8,392
	③当年度純損益(①-②)	23	99	77	75	32	133	126	122	0	76	156	388
資本的 収支 (税込)	④資本的収入	3,328	5,542	5,363	5,572	6,608	4,220	4,273	5,215	4,560	3,819	3,926	4,328
	⑤資本的支出	6,020	8,107	7,765	7,863	8,787	6,489	6,348	7,161	6,444	5,610	5,747	6,130
	⑥資本的収支(④-⑤)	▲2,692	▲2,565	▲2,402	▲2,291	▲2,179	▲2,269	▲2,075	▲1,946	▲1,884	▲1,791	▲1,821	▲1,802
⑦補填財源	2,590	2,630	2,520	2,598	2,386	2,238	2,189	2,132	2,115	1,943	1,816	1,525	
⑧当年度資金収支(③+⑥+⑦)	▲79	164	195	382	239	102	240	308	231	228	151	111	
⑨前年度からの繰越資金	355	276	440	635	1,017	1,256	1,358	1,598	1,906	2,137	2,365	2,516	
⑩年度末資金残高(⑧+⑨)	276	440	635	1,017	1,256	1,358	1,598	1,906	2,137	2,365	2,516	2,627	

- 令和9年度までは**当年度純損益での黒字と年度末資金残高の確保**ができる見通し
 - ➔ 大きな状況の変化等がなければ、後期財政期間中は料金改定をせずに経営ができるものと考えています。
- 令和10年度以降も、**年度末資金残高を確保**できる見通し
 - ➔ 今後の事業実施などによっては、状況の変化も起こり得るので、**定期的な検証を継続**していきます。

4 収支計画における推計の考え方（主な項目）

- **料金収入**（水道料金・下水道使用料）

人口減少等に伴う、水需要の減少を踏まえながら、現行の料金体系で推計を行っています。
- **維持管理費**

施設を維持する経費（委託料、修繕費など）は、物価の上昇傾向を踏まえた推計としています。
- **建設改良費**

施設の老朽化の状況を踏まえ、優先順位等を見極めながら、更新等の経費を積算しています（維持管理費と同様に、物価の上昇を反映）。

5 財政計画の事後検証・改訂

- **PDCAサイクルの実施**（短期的な視点での見直し）
 - ➔ 毎年の検証結果を**各年度の予算**に反映していきます。
- **経営戦略の定期的な改定**（長期的な視点での見直し）
 - ➔ 財政計画は**4年ごと**（ビジョンは**12年ごと**）に改訂します。